

むらまち通信

第77号

2012年4月8日 発行



2012第1回 八剣山周辺の発見ウォーキング



○ 調査状況

- ・ 日 時：平成24年4月7日（土） 10:00～
- ・ 調査箇所：旧定山溪鉄道敷地
- ・ 主 催：八剣山発見隊
- ・ 参 加 者：8人（吉田隊長、原口、椿、丸谷、近藤、中村、紺谷、塚本）

4月に入りました。いよいよ春が近付いてきました、と言いたところなのですが、間近に見えるはずの八剣山が、降り続く雪の向こうに隠れてしまって見えません。小金湯の気象観測所の最深積雪はまだ80センチを超えており、今日の雪によりもっと増えたようで、春は、まだまだはるか彼方です。

本日は新しい年度に入ってから最初のウォーキングです。大正7年から昭和44年まで八剣山のふもとを走っていた定山溪鉄道の線路跡を探索しました。

雪が降りしきる中スノーシューを履いて簾舞駅があった箇所から歩き始めました。そこには少し前まで木材会社の貯木場として使われていましたが、今は木材会社もなくなって広い雪原となっていました。

線路の通っていた箇所は道路のようになっていましたが、すでに線路が廃止されてから40年を経過しているため、たくさんの木々が生い茂っていました。

固く締まった雪の道を、生い茂っている木々を避けながら進みましたが、倒れた木が雪に埋もれて空洞ができており、スノーシューごと埋まってしまう箇所もありました。

線路用地のすぐ横は崖になっており、その下をゆっくりと豊平川が流れていました。その豊平川も霞んでしまうように強く雪が降り続いていましたが、時には雪雲が切れて青空が顔を出し、その時には山頂で雪が舞っている八剣山を木々の向こうに見ることができました。

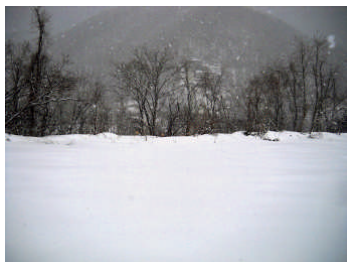
今回は、道路情報館の下あたりまで行ければと思って出発しましたが雪上歩行には危険な箇所もあり、全行程の6割ほどの踏破でした。帰りは国道まで上がりましたが、道路わきの雪の中からはフキノトウが顔を出していました。



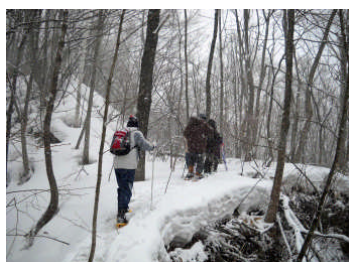
ゆっくりと流れる豊平川



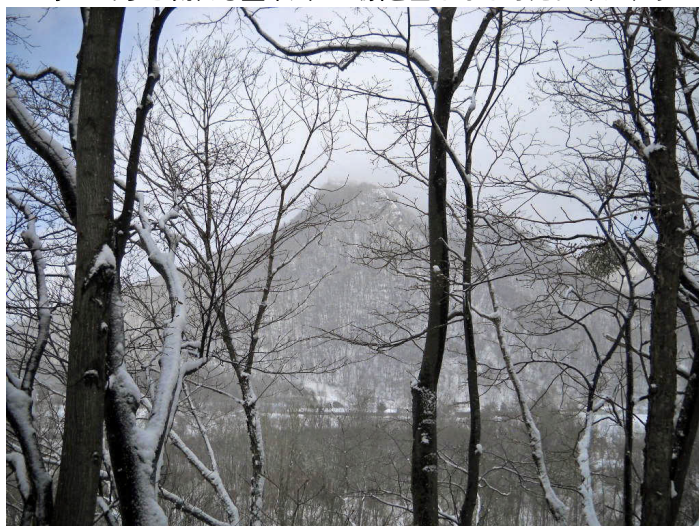
顔を出しはじめたフキノトウ



旧定山溪鉄道簾舞駅跡



線路の跡地を進む隊員



旧定鉄線路跡からの八剣山



発行：塚本むらまち計画研究室
主 宰 塚 本 保 弘

061-1276

北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10

携帯電話：090-7515-7057

E-mail : fhuka@rose.ocn.ne.jp